

R2年度 佐賀大学教育学部附属小学校 図画工作科の取組③



図工の時間は、活動が主になります。板書には、めあてや見通し、活動時の注意や指示等が書かれることが多いと思います。子どもたちは、それを見ながら造形活動に取り組むことになります。でも、それだけではもったいない！活動中、子どもたちの頭はフル回転しています。「この材料は、どんなことに使えるかな」「あ、なんか〇〇な形に見えるぞ。そうだ！いいこと考えた！」「彫刻刀って、こんな感じなんだ」「ここに穴をあけて通したいな。どうしたらいいかな…」「ここから見ると、かっこいいな」「うん、いい感じ！」…。自分の思いに向かって試行錯誤しながら活動する中で、言葉に出しても出さなくても、たくさんの気づきを得ています。そんな気づきを共有できたら、図工の時間の学びがもっと素敵なものになるのでは？そこで、授業の振り返りを板書し、整理して示してみました。

ワークシートに振り返りを書きながら、その中で一番の学びや気づきを、一人ずつ発表します。時間は約5分。板書に示した後、子どもたちの気づきをつないだり強調したりし、その時間の学びを価値付けました。

下は5年「わたしのいい形」の板書です。

**用具の注意点。
安全第一です。**

**本時のめあて。
楽しく取り組めるように。**

わたしのいい形 ～せ.ひ.り

{気もち? 試してみたら、いいなあ...}

- ・ 上から、下から、横から... どんな形が表れるかな
- ・ けすって、形を生み出そう!

用具：彫刻刀、ペラー

彫刻刀の種類と刃先

注意!!

- ・ 必ずマットの上で
- ・ 使わないときは箱にもどす

★ 表しながら考えたこと (形・感じ)

はすの花、花びら、ちいね

まるく → 穴、チャレンジ、深く、わねー新しい形

整える (形・表面)、形をかえる、角を利用

★ 表しながら考えたこと (用具)

使いやす、まわしながら、穴、刀先の形が、のこる、切る

丸刀、三角刀、平刀

平刀: 刀先とま、おとい、平い、ますぐな形、使やす、かかげん、方向

授業の最後に、「表しながら考えたこと」として、「形や感じ」と「用具」に分けて発言を整理しました。最後に困ったり、つないだりして、自分のイメージを表すために用具を使っていたことを確認しました。

(中野)